

国際交流の学内制度と施設

さまざまな価値観に触れる機会を

滋賀大学では海外の大学への留学や研修、そして海外からの留学生を迎えるために、さまざまな制度を用意しています。グローバルな学びを支える制度をご紹介します。



✈ 海外での学びを支援

交換留学

交換留学制度を利用して学ぶ

世界14の国と地域にある24の大学等の機関と、全学レベルの学生交流協定を締結。学生の交流や教育研究などの相互協力をはかっています。学部2回生以上で、派遣条件を満たす学生は、制度を利用して1年以内の留学をすることができます。

Point

- 留学先大学で修得した単位が、所属学部の審議を経て認定される場合があります。
- 留学期間(1年以内)は本学の修業年限および在籍期間に参入されます。
- 滋賀大学に授業料を納めることで、留学先大学の授業料は免除となります。
- 留学にかかる費用の一部を支援する制度があります。

短期海外研修

異文化体験プログラムを実施

夏季休業期間などを利用して、目的意識をもって異文化を体験できる短期海外研修のプログラムを実施しています。海外の大学で授業を受けつつ、現地での生活や地域の文化に触れることで、日本の生活では得られない体験ができます。

研修先

- 夏季語学研修(ミシガン州立大学) 8月～9月
 - オーストラリア研究(ディーキン大学) 2月～3月
 - 韓国語・文化研修(啓明大学) 8月
 - フランス語文化研修(西部カトリック大学) 9月
 - イギリス研修(リーズトリニティ大学) 8月
 - 中国語研修(東北財経大学) 3月
 - メキシコ語学・文化研修(グアナフアト大学) 2月～3月
- ※新型コロナウイルスの感染拡大状況等を踏まえ、順次再開

留学体験記

海外の学生の意見で 深まる自己理解

松本 峻弥

経済学部 光泉カトリック高校(滋賀県)



以前から、国際貿易の分野にとっても興味を抱いていました。大学生になり、留学を通して実践的な英語力を身につけ、さらにサプライチェーンで機能する機関などを学ぶことで、将来、国際物流というフィールドで活かしたいという思いが強くなりました。留学をするにあたっては、国際交流課が主催する説明会で情報を収集。留学中は安全確認、日本帰国時には手続き方法といった注意事項の連絡など、手厚くサポートいただきました。留学準備では、英語力の強化に注力。自身の英語力を客観的に見ることから始め、自分に合った効率の良い方法を探して実践しました。留学先の授業は、学生からの質問やディスカッションの時間も多く、周りの人の疑問にも耳を傾けることで自身のさらなる理解に繋がると感じました。

- 留学期間：2021年8月2日～2022年2月4日
- 留学した大学：Sprott Shaw College(カナダ)
- 留学のタイプ：私費留学



サンクスギビングデー、ハロウィン、クリスマスなどのイベントが留学期間中にあり、日本でのイベントとの違いを感じられたのが印象に残っています

✈ 海外からの留学生との交流を促進

留学生と日本人学生の交流の活性化を図る拠点として、活用しています。多様な国際経験や異なる価値観に触れる機会を増やすことで、国際交流への関心や、国際感覚の醸成をめざします。

グローバルプラザ彦根



グローバルプラザ大津



年間行事予定

- 4月 ・新入留学生オリエンテーション
・留学説明会
- 5月 ・共創グローバル人材プログラム募集説明会
- 7月 ・留学生対象就職活動ガイダンス
- 8月 ・海外留学事前研修
- 9月 ・秋学期履修説明会
・新入留学生オリエンテーション
- 10月 ・留学説明会
- 12月 ・留学生対象就職活動ガイダンス
- 通年 ・滋賀大学グローバルセミナー(概ね月1回程度)